

新内の楽しみ4

浄瑠璃と舞が描く、

上方の女さまざさま

新内志賀

新内研進派三代目家元八代目新内志賀

しんないしが

〔演目〕 古典新内

「三勝半七 千日寺名残鐘」

さんかつはんひち せんいちでらなごりのかね

新作新内

「上方オマージュ」

〔出演〕

新内志賀

三味線と語り

新内志賀桜

上調子

ゲスト

吉村なを

上方舞

森美和子

笛

平成31年

2月6日(水) 午後2時開演

茨木クリエイトセンター・304号室



- 主催：公益財団法人茨木市文化振興財団
- 制作：アクティブKEI
- 後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

京都や大阪の豊かな町衆によって育まれた文化が花開いた、上方。「新内の楽しみ4」では上方の女性をテーマに、古典と新作で描きます。

「三勝半七 千日寺名残鐘」

■あらすじ

大和五条(奈良)の生まれ、茜屋という酒屋の跡取り息子・半七は商用に出かけた大坂で長町の踊り子(女舞々の芸人)の美濃屋・三勝と恋仲になり、お通という子どもまでもうけます。が、半七にはお園という許嫁がいるため、三勝を迎えることができません。自暴自棄になって放蕩する半七。夫・半七が振り向いてくれず悲しみのあまり病身となったお園。半七の母は、密かに大坂の三勝を訪れ、縁を切ってくれと頼むのでした。義太夫から新内に移した「段もの」といわれる作品で、初世鶴賀若狭掾・作。文楽では「艶容女舞衣」という作品で、「今頃は半七さん どこにどうしてござろうぞ」とお園のいじらしいクドキが有名ですが、新内では、三勝と半七の母との愁嘆場に焦点が当てられています。

「上方オマージュ」

■あらすじ

新作は明治時代の大坂を舞台に、浪花の四季折々の情景を描きながら、上方新内と上方舞、浄瑠璃と舞、ふたりの芸に生きる女が交錯する物語で、上方の言葉による書き下ろし作品です。

有名な「ぐち」「桐の雨」ほかの上方唄や舞を、新内の中に織り込んで紡ぎあげました。まさに上方へのオマージュ。上方への憧憬のひとつをお楽しみいただきます。

ほんの少し昔のお座敷は…生の声の響きと三味線の音色、そして艶やかな舞と笛、はんなりと酔な上方の物語の世界へ誘います。

新内志賀 (重森三果) しんない しが / 三味線と語り

京都市生まれ。幼少期より江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。2012年研進派家元、並びに新内志賀の襲名を果たし、現在は一門の指導・育成に献身している。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ等において邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。



吉村なを よしむら なを / 上方舞

2006年上方舞吉村流師範 吉村昂扇師に入門し、2009年に名取。2012年なにわ芸術祭「新進舞踊家競演会」で新人賞、大阪府知事賞、大阪市長賞を受賞。2014年に師範免状を取得。公演活動のほか、京都市内の自身の稽古場及びカルチャーセンター等で上方舞の指導と普及に務めている。上方舞以前には、インドネシアのジョグジャカルタ王宮とその周辺に古くから伝わる宮廷舞踊を研鑽。

森 美和子 もり みわこ / 笛

1995年より篠笛の演奏活動を始める。同じ頃より、日本各地へ足を運んで民俗芸能を見聞し学ぶ。民俗芸能『京都鬼剣舞』笛方。能楽の笛を一噌幸弘氏に師事。奄美民謡を上村藤枝に師事。日本民謡を藤田周次郎に師事。古来、祭や神事で用いられてきた笛の音が現在の音楽として成り立つには？と模索し様々な公演を企画・出演。2006年に自作作曲を主としたアルバム「笛のうたうた」を発表。また、大阪、京都で篠笛教室を開き、指導を行っている。



新内志賀桜 (細野桜子) しんない しが おう / 上調子

4歳より新内志賀に師事。2017年、東京藝術大学(長唄三味線専攻)卒業。現在、京都市立芸術大学(日本伝統音楽研究専攻)修士課程在学中。長唄を稀音家温子、東音新井康子に師事。

平成 31 (2019) 年 2 月 6 日 [水] 午後 2 時開演 (1 時 45 分開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) 3 階・304 号室

茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席自由] 1,500円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き *就学前のお子様はご遠慮ください

12月14日[金] 9:00予約開始

発売初日はインターネット・電話予約のみです。初日の電話予約は1回につき6枚まで。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00~17:00)

インターネットチケット www.ibabun.jp

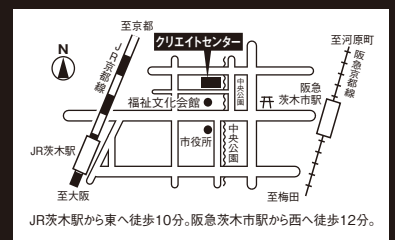
予約後は下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(共に9:00~17:00)

*インターネット予約の場合、セブン-イレブンでご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

〈払込口座〉00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団



新内の楽しみ4
浄瑠璃と舞が描く、
上方の女さままごま